

イベントレポート

令和6年度 咲くやこの花賞贈呈式

2025年2月26日（水） 18:45～20:30（18:00開場）
会場＝大阪市中央公会堂 1 F 大集会室

<令和6年度咲くやこの花賞受賞者>

野原万里絵 / 美術部門 [現代美術]
アイナ・ジ・エンド / 音楽部門 [アーティスト]
翼 和希 / 演劇・舞踊部門 [歌劇]
天才ピアニスト / 大衆芸能部門 [お笑いコンビ]
（竹内知咲、ますみ）
蟬谷めぐ実 / 文芸その他部門 [小説]

<スペシャルゲスト>

桂 吉坊（平成23年度 大衆芸能部門 [落語] 受賞）

<司会>

加美幸伸（FM COCOLO DJ）

<プログラム>

- ・大阪市長挨拶
- ・咲くやこの花賞贈呈
- ・受賞者活動紹介&インタビュー
- ・スペシャルゲスト記念公演 [出演] 桂 吉坊

<開催概要>

令和7年2月26日（水）午後6時45分から大阪市中央公会堂大集会室において、「令和6年度咲くやこの花賞贈呈式」を開催しました。まずはじめに主催者を代表して横山英幸大阪市長が挨拶した後、今年度の受賞者の方々に賞状とトロフィーを贈呈。その後、新受賞者の活動を映像を交えたお話や実演で紹介しました。また、スペシャルゲストとして、平成23年度 大衆芸能部門 [落語] で受賞された桂 吉坊さんに落語を口演していただきました。





司会 加美幸伸さんによる贈呈式開催の挨拶



令和6年度咲くやこの花賞受賞者



横山英幸大阪市長挨拶



横山英幸大阪市長挨拶



野原万里絵さんへ賞状と記念トロフィーの贈呈



翼 和希さんへ賞状と記念トロフィーの贈呈

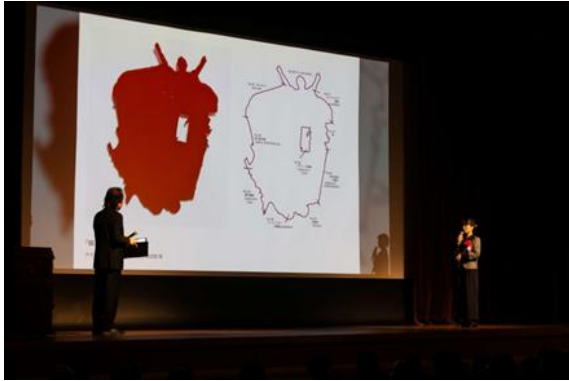


天才ピアニストさんへ賞状と記念トロフィーの贈呈



蟬谷めぐ実さんへ賞状と記念トロフィーの贈呈

新受賞者の活動紹介



●野原万里絵 美術部門 [現代美術]

野原万里絵さんは、日々のスケッチやドローイングをもとに、ご自身の視点からユニークな作品を生み出しています。代表作のひとつ「御道筋定規」は大学時代に考案された道具で、この定規を使い、東京タワーや街中の看板などをトレースし、自身の目で見えた風景を作品へと落とし込んでいます。近年では、青森県で採れる石を使った共同制作にも取り組まれています。「美術は誰でも楽しめるもの」と語る野原さんは、今後も観客や参加者と制作のプロセスを共有する、新たな表現のかたちを探し続けたいとお話いただきました。



●アイナ・ジ・エンド 音楽部門 [アーティスト]

ご都合により欠席となったアイナ・ジ・エンドさんからは、受賞の喜びを語るビデオメッセージをいただきました。大阪・吹田市生まれ、豊中市育ちのアイナ・ジ・エンドさんは、幼い頃から心齋橋にダンスを習いに通っていたそうで、「これからも大阪で歌い続けたいです」と、大阪への深い思いを語っていただきました。2015年に「BiSH」のオーディションに合格し、2023年にグループ活動を終了。現在はソロとして、音楽・舞台・映像作品など幅広く活躍されています。最新のミュージックビデオでは、力強い歌声と個性あふれるパフォーマンスをご披露いただきました。



●蝉谷めぐ実 文芸その他部門 [小説]

蝉谷めぐ実さんのペンネームは、子どもの頃にセミが好きだったことに由来する。2020年に『化け者心中』で作家デビューし、野性時代新人賞を受賞。江戸時代の歌舞伎界を舞台にしたミステリー仕立ての作品で注目を集めました。その後も『化け者手本』『おんなの女房』など、歴史や古典芸能をテーマにした作品を次々と発表し、最新作『万両役者の扇』でも歌舞伎の世界を描いています。今後については、「読んだ人の中に何か小さな変化が残るような作品を書いていきたい」と語っていただきました。





●翼 和希 演劇・舞踊部門 [歌劇]

OSK日本歌劇団のトップスターである翼 和希さんは、冒頭に「伝統ある劇団のトップとして大きな責任を感じています」「103年の歴史を持つOSKが“大阪の宝”であることへの誇りを改めて実感しています」とご挨拶いただきました。また、NHK連続テレビ小説でOSKをモデルにした劇団の初代トップ「橘アオイ」役を演じ自身の劇団への愛着をさらに深めるきっかけになったそうです。「OSKを知ってもらうための“玄関”のような存在になりたい」ともお話いただきました。今後の活動として、6月に大阪松竹座で『レビュー 春の踊り』のお披露目公演が予定されています。最後には、OSKの代表曲『桜咲く国』を、珠凜 かのんさんと有絢 まこさんの3人でご披露いただきました。



●天才ピアニスト（竹内知咲、ますみ） 大衆芸能部門 [お笑いコンビ]

お笑いコンビ「天才ピアニスト」の竹内知咲さんとますみさんは、コントのみならず漫才でも高く評価されている実力派です。2022年には「NHK上方漫才コンテスト」と「THE W 2022」で見事優勝を果たしました。元高校教師の竹内さんは「授業をもっと面白くしたい」という思いからNSCに入学したというユニークな経歴の持ち主。一方のますみさんは10年間の看護師経験を経てお笑いの世界へ。最後にお二人の漫才をご披露いただき、会場は大きな笑いに包まれました。締めくくりには、「この受賞に恥じないよう関西のお笑いを盛り上げ、全国でももっと活躍していきたい」と今後の意気込みも語っていただきました



●スペシャルゲスト：桂 吉坊（平成23年度 大衆芸能部門〔落語〕受賞）

スペシャルゲストとしてお迎えしたのは、平成23年度 大衆芸能部門部門〔落語〕の受賞者である、落語家・桂 吉坊さんです。

吉坊さんは受賞当時をふり返り、「一年間見守っていただいたうえで選ばれた賞なので、とても嬉しかったです」と語っていただきました。現在は落語の舞台にとどまらず、歌舞伎の戯曲執筆や古典芸能のナビゲーターなど、幅広い分野で活躍されており、「好きなものを楽しむ気持ちが大切。自分が面白いと思ったものを、落語にも取り入れていきたい」と、古典芸能への深い愛情と創作への意欲を語っていただきました。最後には、古典落語「商売根問（しょうばいねどい）」を軽快な語り口でご披露いただきました。洒落な言葉のやり取りや間の妙に、会場はたびたび笑いに包まれ、落語がもつ魅力を存分に味わえるひとときとなりました。終了後には「もっと落語を聴いてみたくなった」「初めてでも楽しめた」といった感想が多く寄せられ、吉坊さんの落語が初めての方にも深い印象を残したことがうかがえました。



●最後に新受賞者に登場いただき大きな拍手で贈呈式を締めくくりました。